

# あくせす news



令和6年 新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
本年も呉市医師会病院のご利用・ご紹介のほど、何卒よろしく願いいたします。  
また、このたびの石川県能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに被災された皆様ならびそのご家族に心よりお見舞い申し上げます。  
皆様の安全と一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

## 新年のご挨拶

COVID-19 発生から3年となりました。  
会員の皆さまは新しい年となり今年に何を期待されているでしょうか？

医師会病院のみならず、すべての医療機関と関係者に大きな影響を及ぼした新興感染症は、今なお形を変えながら感染力を維持し存在し続けています。

厚生省は「with Corona」を視野に入れた方針を示しつつありますが、我々医療者は国の方針に基づく医療体制を作っていくしかありません。

医師会病院は「地域医療支援病院」として呉市内の公的病院や開業クリニックと連携しながら新興感染症に対峙してきました。これからも地域に必要とされる病院として将来を見据えた運営を行なっていく予定です。

会員の先生方の益々のご支援をお願い致します。



呉市医師会  
会長  
玉木 正治

会員の先生方には今年も医師会病院のご利用をよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が昨年5月に2類相当から5類へ移行になり、日常生活の制限が緩和され人の動きが活発になりました。その影響が夏から年末にかけてインフルエンザや他の感染症が増え、病院は引き続き感染対策に注意を払いながら診療を行っています。

2014年に開設した大腸肛門病センターは今年で10年目になります。痔や直腸脱の手術、大腸癌の内視鏡診断・治療、腹腔鏡下手術等は順調に症例を重ねています。排便の悩みを抱える子供から高齢の患者さんには多職種によるチームで対応しています。地域の皆様に周知していただくための市民公開セミナーや出前講座を昨年末から再開しました。これからも診療のレベルアップに努め、一人でも多くの患者さんの悩みに寄り添えるよう取り組んでまいります。



呉市医師会病院  
院長  
中塚 博文

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。しばらくを潜めていたインフルエンザが久しぶりに大流行となり、COVID-19も増加しつつあります。そのさなか能登半島地震、羽田空港事故と相次いで災害・事故が発生しました。予測不能な出来事が簡単に起こってしまうというのが率直な感想です。

一方、病院運営も色々な問題に直面しております。地域医療構想に沿った棟再編、電子カルテの更新も着々と進んでいます。また呉市医師会病院の中で重要な位置を占める大腸肛門病センターも今年で開設10年を迎えます。呉市の医療の中で欠くことのできない一部門と言っても良いのではないのでしょうか。新年の夢としては、さらに10年後を思い描くことができるようになりたいと思います。

呉市医師会病院は会員の先生方と呉市民と共に歩む病院です。病院のあり方を明確にし、特徴ある病院作りを進めていく必要があります。これは会員の先生方のご指導・ご支援なくしては成しえません。なお一層のご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



呉市医師会  
副会長/病院担当理事  
吉川 幸伸



# 新年のご挨拶



呉市医師会病院  
看護部長  
風呂本 理恵

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
 会員・登録医の先生方には昨年も多く  
 の患者さんをご紹介いただき、誠にあ  
 りがとうございました。おかげ様で看護  
 部114名、つづがなく新年を迎えること  
 できました。

年明けに発生した能登半島地震では  
 多くの方が被災され、また、現在も避難  
 生活を送られている方が多く、報道を見  
 るたびにとても心が痛みます。コロナ感染  
 の5類移行後、私たちの日常生活は元  
 戻りつつありますが、水や電気の大切さ、  
 住む場所や眠れる場所、食へるものがあ  
 ることなど、不自由のない生活に感謝を  
 しながら一日一日を大切にしていこうと  
 改めて感じております。

本年も患者さんやご家族の方に「医師  
 会病院に入院して良かった」と思ってい  
 だけるよう、目配り・気配り・心配りので  
 きる看護を提供してまいります。引き続  
 きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願  
 い申し上げます。



## 医療安全対策講習会・感染対策講習会

12月20日(水)、医療安全対策講習会および感染対策講習会を行い、約200名の職員が参加しました！

報告

### 医療安全対策講習会



#### 『認知症患者への関わり方』 加藤みどり (4階病棟副師長)

はじめに職員が制作したDVDを視聴し、認知症患者さんへの関わりについて振り返りを行いました。認知症のある患者さんが増え、徘徊や離院リスクがある患者さんもおられます。ユマニチュード(人間らしさと優しさに基づいた認知症ケアの技法)を実践し、職員みんなで認知症患者さんの見守りを行っていくことが医療安全につながるとお話がありました。



#### 『筋肉注射の手技』 金行真理子 (5階病棟師長)

ワクチン接種など、肩への筋肉注射後の肩関節障害「SIRVA(シルバ)」が注目されています。SIRVAの予防として、筋肉注射の穿刺部位や筋肉注射をされる者の姿勢の説明がありました。筋肉注射は打つ側も打たれる側も危険があることを認識し、安全な筋肉注射を施行するようお話がありました。

### 感染対策講習会



#### 『冬に流行する感染症について』 森光毅 (感染管理認定看護師)

インフルエンザ・ノロウイルス・咽頭結膜熱・溶連菌感染症・マイコプラズマについて、原因ウイルスや感染経路、潜伏期間、患者数の推移など、それぞれの特徴をふまえたわかりやすい説明がありました。冬は体調を崩しやすい季節なので職員一人ひとりが体調管理をしっかりと行い、患者さんにとって職員が感染源にならないようとお話がありました。

### 呉市医師会病院 関係医師懇談会 ……ご案内……

▶演題 「原発性肝細胞癌の造影CT・MRI診断と人工知能応用の試み」

▶講師 成田 圭吾 先生 (広島大学病院 放射線診断科 助教)

▶日時 2024年1月30日(火) 19:00~

▶場所 呉市医師会館 5階講堂 (Web配信もあります)

成田先生は画像診断に来ていた  
 だいている非常勤の先生です。

### ★12月1日～12月31日★

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数*	紹介外来患者数	医療相談患者数
99.3人	50.1%	16.1日	97人	108件



呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 MSW 森下 MSW 菅原 MSW 巻幡  
 FAX (0823) 32-7507 室長 中間 事務 中野 事務 向井 事務 井上 事務 岩畔